

大学認証評価指標からみる学習成果と内部質保証

野田 文香 (大学改革支援・学位授与機構)

Learning Outcomes and Internal Quality Assurance based on Analysis of University Evaluation

A. Noda (National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education)

概要 本研究は、大学改革支援・学位授与機構が行った大学認証評価に係る評価報告書および自己評価書の分析、大学へのインタビュー調査に基づき、1) 雇用者が学士課程修了者について高く/低く評価した能力、2) 内部質保証の文脈における学習成果評価の実態、3) 内部質保証と学習成果評価の関係性の3つの観点について、大学の認識を多面的に考察することを目的とする。

キーワード: 大学認証評価, 評価指標, 学習成果, 学士課程修了者の能力, 内部質保証

1 研究背景と課題設定

中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(2018)」¹⁾では、大学自らが質保証の責任を有する「内部質保証」の重要性とともに、学習成果の可視化や情報公表が強調された。経済界や官公庁をはじめ、社会が大学に求める能力については情報が溢れる一方、雇用者が実際に評価した学士課程修了者の能力については実態が十分に発信されていない。また国内外の先行研究において、学習成果は内部質保証の重要要素であることは共通に理解されてきたが、両概念が相互にどう位置づけられるかは、各大学において共通に理解されているとは言い難い。本研究では、RQ1) 雇用者が学士課程修了者について高く評価した能力は何か。逆に、弱いと感じる能力は何か。RQ2) 大学は、内部質保証の文脈で学習成果をどう評価しているか。RQ3) 大学は、「内部質保証」と「学習成果評価」の関係性をどう捉えているか、の3つの観点について大学の認識を多面的に考察する。

2 研究方法

大学改革支援・学位授与機構が行った第2期大学認証評価をめぐり、RQ1) は、評価報告書の学習成果に係る基準(観点6-2-②)に基づき、学士課程修了者に対する雇用者の能力評価の指標についてテキスト分析(n=99; n=42)を行った。RQ2) は、自己評価書(n=124)の内部質保証に関わる基準(8-1-①)のテキスト分析から、内部質保証における学習成果評価の状況について大学の認識を整理した。RQ3) については、ケーススタディとして国立大学10校を対象に評価に関わる教職員にインタビュー調査を実施し、学習成果評価と内部質保証の二者間の概念的関係性について大学の認識を探索的に類型化した。

3 研究結果

3.1 雇用者が学士課程修了者について評価した能力
高く評価された能力には、「真面目、常識、マナ

一、誠実さ」などの基本的態度・資質が圧倒的に多い。次に「専門知識・技能」が続き、「協調性」「主体性」「課題発見力」「論理的思考力」「問題解決力」「実行力」などが高く評価された大学数は急減している(Fig.1)。また学士課程修了者に対して弱いと感じる能力として、「英語力」「国際感覚」が上位に挙がり、グローバル化への対応力が急務となっている。

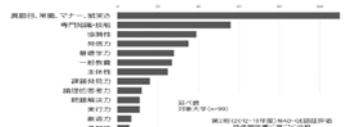


Fig.1: 学士課程修了者について雇用者が高く評価した能力。

3.2 内部質保証体制における学習成果評価の活用

内部質保証の文脈で活用される学習成果評価について、授業評価アンケート(61%)が最も多く、その次に卒業生調査や部局の学習成果評価、GPAや成績分布の確認(各26%)などがあげられている。

3.3 内部質保証と学習成果評価の関係性

「内部質保証」と「学習成果評価」の2つの関係性に係る大学の認識について、探索的な類型として以下の4パターンが見出された。①「一体型」: 内部質保証と学習成果評価は一体的に行われるという理念的認識。②「目的(内部質保証)と手段(学習成果評価)」: 内部質保証を構築すること自体が第一目的であり、それを実現する「手段」が学習成果評価であるという認識。③「需要(学習成果)と供給(評価)」: 求められる学習成果を大学が満たすべき「需要」とし、その「供給」として評価が開発・実施される。内部質保証はこの「需要と供給」に基づいて、結果的に機能する。④「相互に独立」: 学習成果評価と内部質保証が分断された状態。縦割りとなっている学内の各セクターの機能が連携していない様子を示唆しており、組織内コミュニケーションの問題が浮かび上がってくる。

参考文献

1) https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2018/12/20/1411360_1_1_1.pdf